

あくせす news

第 180 号
2016年 6月14日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす

向夏の候、色とりどりの紫陽花が大輪の花を咲かせる季節となりました。夏服姿の人も増え、初夏を感じる今日この頃です。さて、先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、ありがとうございます。入院・外来・特殊外来とも電話またはFAXで受け付けております。また、CT・MRI・マンモグラフィ・骨塩定量検査等、当日検査をご希望の際はお気軽に **放射線科 (あくせす) TEL25-7708** までご連絡下さい。今後とも一層のご利用・ご紹介をよろしくお願いいたします。



職員研修会報告

5月25日(木)、呉市医師会館講堂にて福利厚生教育研修委員会主催による「がんのリハビリテーション」の職員研修会が開催され、171名の職員が参加しました。はじめに当院職員によるがんのリハビリテーションの基礎についての説明と、当院でがん患者さんへチームでアプローチを行った事例発表がありました。

その後、広島大学大学院医歯薬保健学研究院 岡村仁先生による「がん患者さんの心のケア～コミュニケーションの取り方を中心に～」と題した講演がありました。精神的負担が大きいとされるがん患者さんの心の変動やそれに対する精神的サポートについて説明があり、「思いやりのこころ」を基盤としたコミュニケーションが大切であること、また、コミュニケーションのスキルアップが必要で、そのトレーニングの方法など、具体的に分かりやすいお話をしていただきました。



今回の研修では当院におけるがんのリハビリテーションの現状を知ることができ、また、がん患者さんをはじめ、全患者さんへの接し方について学ぶことができました。今後も職員一同、コミュニケーションのスキルを高め、患者さん一人ひとりに寄り添う医療・看護が提供できるよう努めて参ります。

【職員発表】「がん患者のリハビリテーションについて」 石寺 愛 (リハビリテーション科)
「当院におけるがんリハビリテーションの紹介」 加藤 みどり (4階病棟)
【講演】 「がん患者さんの心のケア ～コミュニケーションの取り方を中心に～」
講師：広島大学大学院医歯薬保健学研究院 精神機能制御科学研究室 教授 岡村 仁 先生

関係医師懇談会のご案内



呉市医師会病院では会員・登録医の先生方との連携を深めるため、2ヶ月毎に関係医師懇談会を開催しています。次回は下記の要領で講演を予定していますので、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

【日時】 7月19日(水) 19時00分
【場所】 呉市医師会館 4階 視聴覚教室
【演題】 「高齢者肺炎の治療と予防」
【講師】 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院
はっとり のぼる
分子内科学 教授 服部 登 先生

※日医生涯教育講座(加キラム)ド 45.46)の認定申請中です。
※出欠のご案内は後日送付いたします。
※このたびは軽食(カレー)を準備いたしませんのでご了承下さい。
【お問合せ先】医師会事務局
TEL 22-2326



『大腸癌外科治療の最近のトピックス』

外科主任医長 高倉 有二



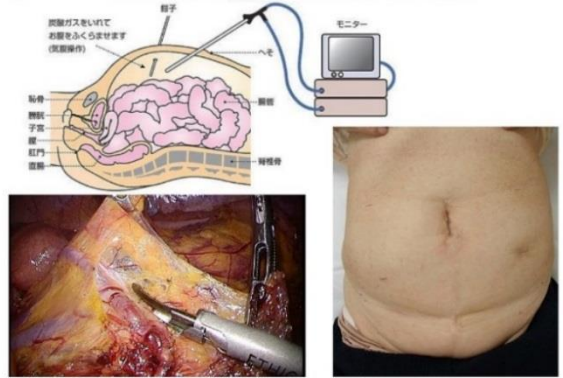
大腸癌は増えています

国立がん研究センターの最新がん統計では、大腸癌の罹患数(1年間に大腸癌と診断される患者さんの数)は胃癌を抜いて1位となっています。現在、日本人の「2人に1人ががんになる」と言われますが、「10人に1人は大腸癌となる」時代になっています。

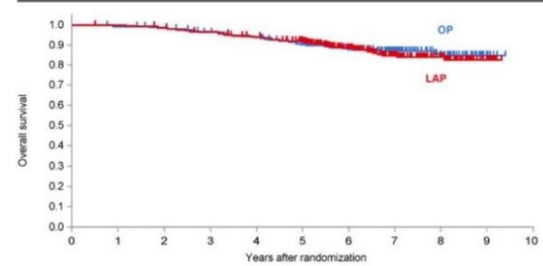
大腸癌の腹腔鏡手術

大腸癌に対する腹腔鏡手術は、現在日本の大腸癌手術の半数以上で実施されるに至っています(NCD データ)。2015年に本邦での腹腔鏡手術と開腹手術を比較した大規模臨床試験の結果が明らかとなりました。結果として、腹腔鏡手術は標準手術である開腹手術に対して非劣性が証明されませんでした。生存率はほぼ同等で、今後も実臨床では腹腔鏡手術は広く実施されていくと予測されます。腹腔鏡手術で成績が劣っていたグループ(N2症例や肥満症例など)のデータも明らかにされており、進行癌症例の場合は、個別に適応を検討していく事が肝要です。

大腸癌に対する腹腔鏡手術



腹腔鏡手術と開腹手術の長期成績 (日本の大規模臨床試験)

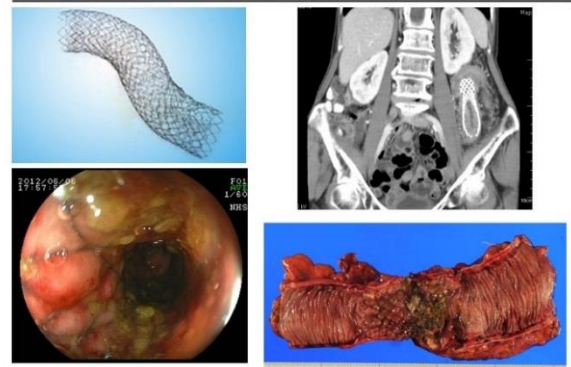


5年生存率 開腹 90.4% vs. 腹腔鏡 91.8% (非劣性示せず)

ステントによる大腸癌イレウスの治療

2012年から大腸ステントによる大腸悪性狭窄に対する治療が保険適応となりました。腸閉塞を併発する大腸癌に対する緊急手術回避目的(Bridge to surgery)でも使用が可能です。癌に対する根治性と安全性の観点から、適応は慎重に判断する必要がありますが、人工肛門造設の回避や、患者さんのQOLの維持など、有用な治療オプションの一つとなっています。

大腸ステントによる大腸癌イレウスの治療



まとめ

呉市医師会病院 大腸肛門病センターでは、癌の根治性を第一に、腹腔鏡手術も含めた質の高い外科治療を提供することを目標としています。大腸癌は便通異常(腹部膨満、残便感、下痢と便秘を繰り返す、など)から発見されることもよくあります。軽微な症状でもお気軽にご紹介頂ければと思います。



大腸肛門病センターでは月曜日から金曜日の午前中に外来診療を行っております。
あくせすまでご連絡下さい。【あくせす TEL32-7576】



★5月1日～5月31日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
93.7人	45.2%	15.2日	86人	83人

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 **あくせす**

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 博文 室長 中間 千穂 事務 中野 浩美 事務 森本 美穂
FAX (0823) 32-7507 看護師長 方岡 直美 MSW 森下 香織 MSW 菅原 淳子